



センターWebページへ

トップ

招へい講師による講義・演習 1

招へい講師による講義・演習 2

お役立ち情報・お知らせ

ハイライト:

「講座紹介」の特集号です。

当センターでは、今年度も多くの講座を実施しました。各課の特徴的な講座を紹介します。

目次:

招へい講師による講義・演習1	2
招へい講師による講義・演習2	3
カリキュラムセンター・お役立ち情報	4
センター研究発表会開催のお知らせ	4

青森県総合学校教育センター センターだより

巻頭言

「学校等支援講師派遣事業について」

平成24年8月28日に中央教育審議会から「教職生活全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」の答申がなされておりますが、その中で校内研修や自主研修の活性化を図るための手立てが述べられております。その概要として、「教育委員会による校内研修等を活性化するための取組の推進、組織的かつ効果的な指導主事による学校訪問の在り方の研究及び校内研修の質・量の充実に積極的に支援する視点から、教育委員会や教育センターの指導体制の確立及び組織的・計画的な学校に対する指導・助言」等が挙げられています。



青森県総合学校教育センター
高校教育課長 矢 倉 慎 次

当センターでは、教員の資質能力の総合的な向上方策として、平成21年度から「カリキュラムセンタープロジェクト」を立ち上げ、学校現場に必要な支援について検討を重ねております。そして、その方策の一つとして、平成23年度から学校等支援講師派遣事業を実施してまいりました。この事業は、学校が抱える今日的課題を解決し、教職員の資質向上を図るための校内研修等に対して、講師として指導主事を派遣し、学校の教育活動を支援することを目的としたものです。今年度は、10月までの実績として、派遣申込数は延べ数で県内118校（小学校48校、中学校20校、高等学校34校、その他17校）となっており、昨年度（通年）比で既に38件も増加し、この事業について周知がなされつつあります。派遣内容のテーマは、生徒指導・教育相談、情報化への対応、授業改善及び学校経営全般の4つの領域に分類されますが、生徒指導・教育相談領域（「特別な配慮を必要とする児童生徒への対応」（34件）、「Q-Uテスト」（19件）、「ソーシャルスキルトレーニング」（14件）、「カウンセリングの基本」（8件））が圧倒的に多く、全体の86%を占めております。

当センターが学校支援をさらに充実させたいと考える領域は、授業改善です。具体的テーマとしては「授業におけるICT活用」及び「言語活動を取り入れた授業」等が挙げられますが、県立学校において校内研修として開催される「公開・研究授業への指導・助言」についても積極的に指導主事を派遣したいと考えております。

「児童生徒にとって魅力ある授業」、そして、「思考力・判断力・表現力を身に付けるための授業」等への支援を引き続き行ってまいりますので、今後とも当センターの学校等支援講師派遣事業の御活用をお願いします。

トップ

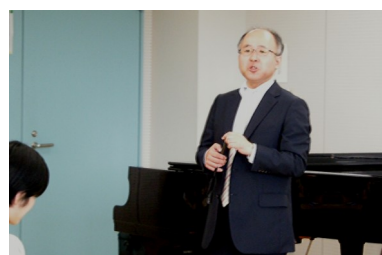
招へい講師による講義・演習 1

招へい講師による講義・演習 2

お役立ち情報・お知らせ



文部科学省初等中等教育局教育課程課
教科調査官 田村 学 氏



奈良教育大学大学院
教授 宮下 俊也 氏



「豊かな表現力をはぐくむ音楽科
実技講座」の演習の様子

*

招へい講師による講義・演習 1

今年度も多くの講座において講師をお招きし、専門知識・技能の研修や先進的な研究事例についてご講義いただきました。

「講座番号 503 総合的な学習の時間研修講座」

6/28～6/29開催

本講座では、文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 田村 学氏を招いて、講義・演習を行いました。田村教科調査官には、全国の優れた実践を数多く紹介していただきました。受講者からは、「子どもたちの生き生きとした表情を見せる様子に総合的な学習の時間の良さ、今だからこそ必要である教科だということに納得した。」「とてもとても参考になった。探究的に総合的な学習の時間を行う中で、子どもたちの瞳も心も輝き、よりよく生きようと変わる姿を見て涙が出た。本音が言えたり、聞けたりするととてもよい講義だった。自校の職員、全員に受けてほしかった。」と大好評でした。

総合的な学習の時間導入当初に吹いていた追い風が、いつしか逆風に変わり、逆風すら吹かない無風状態とも言われている今、「きちんと取り組みれば、確かに変わる」を実感させられた講義でした。

「講座番号 302 豊かな表現力をはぐくむ音楽科実技講座」

10/9～10/10開催

本講座は中・高等学校音楽科教員・特別支援学校教員を対象に、新学習指導要領で内容の充実が求められている鑑賞領域の具体的な指導法とその評価方法について理解を深めることを目的として行われました。

一日目は、八戸市立三条中学校教諭 長者久保 希史子 氏を講師としてお招きし、実践事例を基に、各校種に分かれたグループで「興味関心を持たせながら『能』をどのように題材構成するか」というテーマで協議・演習し、発表を行いました。

二日目は、奈良教育大学大学院教授 宮下 俊也 氏から、「これからの新しい音楽鑑賞の指導と評価の在り方」について講義をしていただきました。①音楽を構成する要素の知覚・感受を何のために求めるのか、②批評の能力を何のために求めるのか、③鑑賞が「創造的学習」になっているのか、④「音楽鑑賞学習」は人間形成においてどのような役割を果たすのか、⑤なぜ音楽（芸術）教育が必要なのか等の内容について深く考える機会となり、鑑賞事例に感動し涙する受講生の皆さんでした。

<受講者の声>

○社会的貢献を目指した授業を意識することにより学校や家庭生活が豊かなものとなり、豊かな人づくりへと発展していくことを考えると、芸術とは普遍であり欠かせないものであると思った。これからも感動体験を追求し、世界を切り拓いていける活動を目指していけたらと思う。

○知性と感性はつながっているということは、生きていくことと想像力を育てるということが深くつながっていると感じた。学校教育で人材を育成することを目的とするならば、心を扱い、そして、心を育てる要素の大きい科目である音楽科が担う責任は大きいと感じた。

注釈）＊「招へい講師」とは、研修講座充実のために、県内外の大学、国・県機関、民間企業、学校等からお招きしている講師です。

「講座番号 345 高等学校家庭科教育講座」

11/6～11/7開催

本講座は、小学校家庭科、中学校技術・家庭科の上に積み重ね、生活の営みに必要な知識と技術を習得させ、生活をよりよくするために主体的に実践できる能力と態度を育成することを目指した指導と教材作成について研修を行い、担当教員の指導力の向上を図ることを目的に実施しています。

講師として、文化学園大学教授 大熊 志津江 氏をお招きし、「被服管理と着装」、「被服の入手・洗濯・保管に役立つ実験」というテーマで、講義及び実験・実習をしていただきました。

講義では、「現代の被服が抱える多様性の問題」や「新素材の開発等による被服材料の変化」、「被服を管理するために使用する洗剤の変化」について具体的な例を挙げて説明いただきました。衣生活においても多様な価値観が混在する中、そのような社会の変化に対応して自分らしい生活をつくり、生活の自立について指導していくことの必要性に気付かせてくださいました。

実験・実習では、身近な被服材料にしみや汚れが付着した場合の処理の仕方について、様々な処理剤を使用した処理の方法をご教授いただきました。受講した先生方が実際に授業で活用できるよう溶剤の準備、しみ抜きに必要な用具の作り方もお教えいただき、受講された先生方からは、すぐに授業に活用したいと実践力につながったという意見が多く寄せられました。

「講座番号 703 幼児教育（特別支援教育）研修講座」

9/18～9/19開催

本講座は、話をしているときに視線が合わない、言葉の使い方に言い誤りがあるなど、幼稚園や保育園にいる気になる子どもへの関わり方を研修することをねらいとしています。講師の弘前大学准教授 増田 貴人 氏は、「特別な教育的支援を必要とする子への関わり方」という講義の中で、幼児期は障害を特定することが難しいこと、障害という視点だけで幼児を見ずに、個々の発達を見ることが大切だということを話されました。受講者からは、「内容がとてもわかりやすかった」、「講義を参考にして支援方法や声かけ、環境設定などを見直したい」、「幼児期の支援とアプローチについて知ることができた」など、参考になったという感想が多く聞かれました。

「講座番号 113 生徒指導担当者研修講座」

6/5～6/6開催

本講座では、町田市教育センター教育アドバイザー 山本 修司 氏をお招きし、講義・演習をしていただきました。山本先生は、東京都の中学校の国語教師、指導主事を経て、中学校の校長を歴任され、数々の生徒指導の実践を行ってきた実践家であり、『実践に基づく毅然とした指導1・2』の著者・編者でもあります。受講者の多くが、「山本先生の実践はとても勇気づけられる内容で、今後私がこのような立場、場面になったら先生の実践をモデルに対応していきたいと強く思った。」という感想を寄せていることから、山本先生の熱い実践が青森県に波及して、「厳しさ」と「温かさ」を併せ持った実践力のある教職員がより多く育つことと思われます。

※当センターWebページでは、今年度実施した講座の様子を随時紹介しています。そちらも是非ご覧ください。

トップ

招へい講師による講義・演習 1

招へい講師による講義・演習 2

お役立ち情報・お知らせ



文化学園大学
教授 大熊 志津江 氏



「高等学校家庭科教育講座」
の実験の様子



「幼児教育（特別支援教育）研修
講座」の実習の様子



町田市教育センター
教育アドバイザー 山本 修司 氏

1 図書資料室について

今年度第2次購入分の新着図書の一部をご紹介します。このほかにも図書資料室では、県内の学校で採択している教科書や論文等の教育資料、教育関係雑誌のバックナンバーなども閲覧できます。研修等で来所の際はぜひお立ち寄りください。（一覧はセンターWebページに掲載されています。）

図書名	著者名	出版社名
話して伝わる、聞いて分かる話す力・聞く力の基礎・基本を育てる 一 小学校一上・下巻	井上一郎	明治図書出版
確かな学力を育てる確かな授業	梶田毅一	金子書房
高校授業超入門 一寝た子も起きる授業テクニック！	野島一郎	学事出版
評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 各教科）	文部科学省	教育出版
図解入門ビジネス 製造現場の見える化の基本と実践がよくわかる本	石川秀人	秀和システム
危険予知訓練イラスト・シート集	澤田陽太郎	中央労働災害防止協会
助詞の使い分けのとその手話表現 第1巻 第2巻	脇中起余子	北大路書房
遊びながら学ぶ発音・発声、ことばの指導	梅崎祐司	明治図書
特別支援の子への対応一AさせたいならBと言え 下学年 上学年	奥 清二郎	明治図書
DVD 教員のための保護者対応能力向上シリーズ 第1巻～第6巻	日経BPマーケティング	日経BPマーケティング

2 図書資料室の利用について

図書資料室の利用については利用者カードが必要となります。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

3 教科指導等の相談窓口について

県内の教職員からの教科指導等の疑問・質問に対して、速やかで的確な情報提供など、教職員の教育活動を支援するため、センターWebページに標記窓口を設置しています。詳細につきましては[こちら](#)をご覧ください。

～センター研究発表会を開催します～

当センターでは、研究成果を広く教育関係者に発表し、本県の教育向上に資するために、「青森県総合学校教育センター研究発表会」を開催しています。今年度は、各課合わせて25テーマについて発表します。開催日程は以下のとおりです。

○開催日 平成25年1月9日（水）

10:00 10:25 12:00 13:00 15:30

日程	受付	部会別研究発表 （12テーマ）	昼食・休憩	部会別研究発表 （15コマ）

なお、研究発表テーマ及び発表者、申込方法を記載した[開催案内をセンターWebページ](#)で公開しています。皆様の参加をお待ちしております。

トップ

招へい講師による講義・演習 1

招へい講師による講義・演習 2

お役立ち情報・お知らせ



図書資料室（2F）の入り口



昨年度の研究発表会の様子